

ホクレン営農支援情報

(2020年6月号)

●アブラナ科野菜の根こぶ病対策 《札幌支所 営農支援室》

アブラナ科野菜の根こぶ病は、土壌中の病原菌が原因で生育不良を引き起こす病気で道内でも広く発生がみられます。

ホクレン札幌支所では、ブロッコリーの産地化を進めるJA北いしかりと生産部会、農業改良普及センターと連携し、根こぶ病の菌密度を測定する土壌診断や、そ



根こぶ病にかかったブロッコリー

の結果に基づく対応などをマニュアル化しました。アグリポート25号(6月1日発行)でも紹介していますので参考にしてください。また、マニュアル等に興味のある方はホクレン札幌支所営農支援室までお問い合わせください。

●ニンジン黄化病とその対策 《長沼研究農場 営農技術課》

にんじんの葉に赤化や黄化の症状がみられた場合、「ニンジン黄化病」が原因の可能性が
あります。

欧米で重要病害として位置付けられている本病は、アブラムシが媒介するウイルス病で、北海道でも広く発生していることが明らかになっています。感染すると大きな収量低下を引き起こす恐れがあるため、アブラムシの防除や収穫後の残渣物を越冬させないことが重要で

す。詳しくはアグリレポート 25 号（6 月 1 日発行）に掲載していますので参考にしてください。

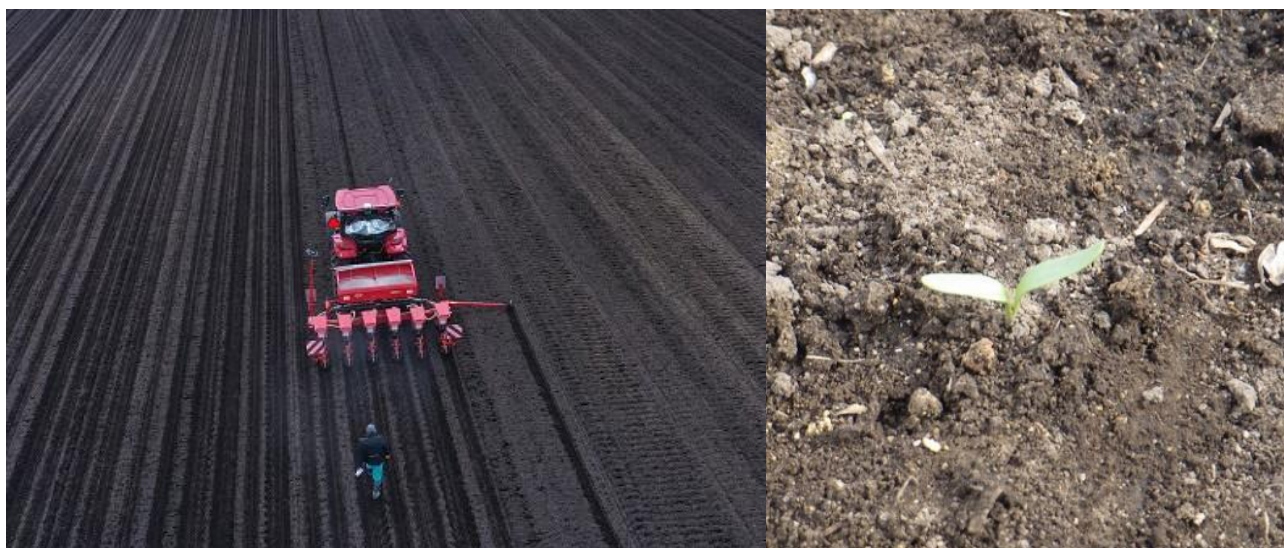


ニンジン黄化病による赤化・黄化症状

● 直播ビートの播種作業 《訓子府実証農場 農産技術課》

訓子府実証農場農産技術課では、新たに導入した真空播種機を用い 4 月 24 日に直播ビートの播種作業を実施しました。5 月 6 日には出芽期を迎え、順調に生育しています。

今後、当播種機を使用し、豆類（大豆・小豆）、飼料用とうもろこしを播種します。小豆では、一部、狭畦栽培（畦間 48 cm）も予定しており、生育状況などを確認していきます。



播種作業の様子

出芽後の様子。草丈約 3~4 cm（5 月 13 日）

●アグリレポート 25 号を発刊 《営農支援推進課》

6月1日にアグリレポート25号を発刊しました。特集は「防除を考える」です。作物の品質や収量を安定させ、収益を高めるために重要な「防除」。農薬による化学的な防除や、農薬のみに頼らない「総合的な防除」の考え方について紹介しています。

また、今号からページデザインや表紙をリニューアルするとともに、新たなコーナー「道産品のカタチ」を開始しています。このコーナーでは北海道の農畜産物を使用いただいている取引先や商品にスポットを当て、

商品に込める思いや北海道産農畜産物の評価、生産者への期待などを掲載していく予定です。第1回目は株式会社ローソンの「おにぎり」。ぜひご覧ください。



●アグリレポートのバックナンバーはホクレンのHPから 《営農支援推進課》

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、道内の農業関係の研修会なども多くが中止や延期となっています。このような時期だからこそ、冊子やインターネットを活用してあらためて農業に関する情報収集を試みてはいかがでしょうか。

アグリレポートは最新号を含むバックナンバーをホクレンのホームページ上で公開しています。ぜひご活用ください。

アグリレポートバックナンバー
ホクレンのホームページから
ご覧いただけます
<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/>



内容についてのお問い合わせは **ホクレン岩見沢支所営農支援室** まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp